+

＜令和3年1月発行＞

**市民クラブ市政報告**

発行：姫路市議会市民クラブ　　姫路市安田四丁目１番地　　☎：079-221-2042　　編集責任者：竹尾　浩司

スーツを着た男性たち

自動的に生成された説明

**蔭山敏明**

**<会長>**

**〈議会運営委員会副委員長〉**

**八木隆次郎**

**阿山正人**

**竹尾浩司**

**<幹事長>**

**三輪敏之**

**<文教・子育て委員会副委員長>**

**山口悟**

**<政調会長>**

**〈厚生委員会副委員長〉**

**常盤真功**

**<建設委員会委員長>**

**駒田かすみ**

**<監査委員>**

**石堂大輔**

**<副議長>**

新年あけましておめでとうございます。

皆様にご支援・ご支持頂き活動を進めております、『姫路市議会　市民クラブ』の仲間です。

今後ともご支援のほど、よろしくお願いします。

今回は、『令和3年度予算編成に対する会派要望』　『姫路市緊急経済対策第６弾』　『市議会議員の不当要求行為に関する調査特別委員会設置』　そしてＲ２．11．25～12．21までの27日間で開会された『令和2年第4回姫路市議会定例会』での個人質問についてご報告致します。

**Ⅰ.『令和3年度予算編成に対する会派要望』について**





　私たち市民クラブは、令和3年度の姫路市予算編成に対し、勤労者・生活者に視点を置き、重点50項目・優先160項目と非常に多くの項目について『夢と希望と誇りがもてる姫路市』の実現のために予算要望会を実施致しました。

<要望会>

**各担当部局・・・令和2年10月23，27，29日**

**清元市長他・・・令和3年　1月5日**

【市長・理事者】

【市民クラブ】

**Ⅱ.『姫路市緊急経済対策』について　【第6弾】　R2.12.21議決　（13,800千円）**

**【インフルエンザと新型コロナウイルスの同時流行が予想される今冬における緊急かつ迅速な感染症対策を実施】**

**―今冬の医療提供体制を守る―**



・年末年始における一次救急医療の体制強化

・環境衛生研究所におけるPCR検査機器の更新・増設



・障がい者支援施設、介護施設等に新たに入所する方のうち

希望者を対象にしたPCR検査費用の無償化

・市役所窓口における飛沫感染防止用衝立の整備

・保育所等の衛生用品の購入等に対する支援

・地域公共交通機関の新型コロナウイルス対策に対する支援

**Ⅲ.****『市議会議員の不当要求行為に関する調査特別委員会設置』について**

姫路市議会議員が市職員に威圧的な言動を繰り返し「不当要求行為」と認定された問題については『地方自治法に基づく調査特別委員会（百条委員会）』の設置条例を可決し、市議会においても本特別委員会で事実の解明を行うことになりました。

12月21日に初委員会を開催し、今後の予定として市議会議員と市職員のやり取りを記録した「音声データ」を確認した上で関係者に事情聴取を行うことや2月に開会される令和3年第1回定例会に最終報告を行うことなどを決定いたしました。

**Ⅳ.『令和２年第4回姫路市議会定例会』での個人質問について**

**環境政策、労働環境整備、姫路城マラソンの今後の展開等について**

**働く現役世代の代弁者として質す！**

**阿山正人議員が質問しました**

**【個人質問：質問日 12/3】**

本定例会で8項目について質問し、市当局の対応を質しました。『姫路市環境基本計画について』『姫路市職員条例とパワハラ防止法について』『姫路城マラソンの今後の展開について』の3件についてご報告します。

●姫路市環境基本計画について

Q:実効性が困難な環境政策は、本市の経済活動や経済発展の妨げになることを懸念するが、それらについての考え方は？

A:温暖化対策のみに力点を置いた過度な政策は経済活動の妨げになり、経済発展を損なう恐れがあると認識している。本市としては、事業者に発想の転換と脱炭素社会の実現に向けた取り組みに期待しており、行政としても必要な協力や支援を行っていく。

●姫路市職員倫理条例とパワハラ防止法について

Q:議員からの要望を『不当要求の恐れ』と判断したものが、職員倫理審査会で『不当要求』と認定されたが、本市の見解と今後の対応策は？

A:再発防止に向け、条例の運用を検証し課題を整理する。また、職員が『議員』を『一般市民』と同等に対処したことで、条例が適切に運用されなかったと指摘されたため、今後、広く職員の意見を聞く必要があると考えている。

Q:本年6月施行の『改正労働施策総合推進法(パワハラ防止法)』の目的は、『労働者をパワハラから守る』ことが最重要であり、企業や事業所を指導・監督する市役所が率先してその対策を講じるべきだと考えるが、具体的な対応策は？

A:パワハラ防止のため、管理職が正しい知識を持ち役割を果たすことが重要であり、部長級にパワハラ防止及び排除に努めるよう指示しており、課長級にも研修を実施し、風通しの良い職場環境の構築に努める。

●姫路城マラソンの今後の展開について

　Q:マラソン大会の代替策として、ロゲイニングやマラソン教室等のイベントを開催し、マラソンファンの気持ちを繋ぎ止めておくべきでは？また、ウイズコロナを見据え、新らたな企画づくりや新コースの検討をすべきではないか？

A:何らかの形でイベント実施を現在検討中である。特にロゲイニングは現地を訪れてもらえるイベントのため注目しており、できるだけ早くに代替イベントを決定したい。また、姫路城マラソンは経済効果も期待できるだけに、コースの変更やマラソン祭りなどをウイズコロナ禍でも開催できるよう検討を進める。

※12月8日に『ロゲイニング』、鈴木大地氏による『トップアスリート講演会』、高橋尚子氏による『ランニング教室』開催が決定

**コロナ後の新しい生活様式への対応について**

**生活者の視点から質す！**

**駒田かすみ議員が質問しました**

**【個人質問：質問日 12/7】**

ノートパソコン, 屋内, テーブル, 座る が含まれている画像

自動的に生成された説明本定例会で、3項目9点についてアフターコロナを見据えての市の方針や対応状況について質問を行いました。その中から『新しい生活様式への対応について』『コミュニティサイクルの今後について』『地方創生の取組について』の3件についてご報告いたします。

●新しい生活様式への対応について

Q:現在、紙媒体のお薬手帳について、アプリ導入により電子化することで、調剤情報の統合を行うだけでなく、バイタル情報等を含めて共有し、認知症予防や防災対策としても活用することが重要ではないか？

A:お薬手帳の電子化によるメリットは十分承知しているがマイナンバーと健康保険証の統合過程で先行導入してしまって経費が二重化することがないよう、国のシステム要件が決定次第早期に導入したいと考えている。

Q:先日行われた姫路城バーチャルツアーの反応は？新型コロナ対策や、アフターコロナのインバウンドを見据えて姫路城にVR登閣できるシステムを導入すべきでは？

A:姫路城バーチャルツアーについては2回の合計628名が参加し、非常に好評で定期開催を望む声もあった。今後のインバウンドへの呼び水として、令和3年度には英語での姫路城バーチャルツアーも予定しており、今後積極的にVR活用を図りたい。

●コミュニティサイクルの今後について

Q:新施設が増加する中で『姫ちゃり』のステーションの増設が必要ではないか。また『姫ちゃり』になじまない周辺部ではスマホ式シェアサイクルや1日レンタル料金の導入も検討すべきでは？

A:『姫ちゃり』のステーションについては1基あたりの価格が高く増設ではなく移設により対応したいと考えているが、今後の運営については、スマホ式シェアサイクルへの移行に関しても他市の運用状況等を含めて検討する必要があると考える。その際には、周辺部への対応や1日料金等についても同時に検討を行う。

●地方創生の取組について

Q:ふるさと納税を活用して、日本玩具博物館や安富町のかかしの里、夢前町のハーブ等の姫路市にとって重要な施設や事業へ寄付を募るべきでは？

A:今年度からGCF（ガバメント・クラウドファンディング)にも対応し、ふるさと納税として11月末時点の前年度比で約3倍の実績を得られたため、今後、要項等を整備して積極的に活用を図りたい。